資 料 2

新八戸市体育館整備等事業について

1　経緯等

・昭和 38 年竣工の老朽化した八戸市体育館について、令和８年度整備着手を目指し、新施設を PFI（BTO）方式で建設する方針で事業を進めてきた。
・しかしながら、近年、資材価格の高騰や深刻な人手不足に伴う労務費の上昇により、全国的に公共事業の入札不調や事業計画の見直しが頻発している状況。
・当市においても令和５年度の基本計画策定時から現時点で２割以上の建設費の高騰が見込まれ、今後も一段の上昇基調が続く見通しであることから、市の財政負担を十分に考慮した上で事業を進めるべく、総事業費の圧縮や平準化を精査、検討する旨、令和７年 12 月 16 日に開催された経済協議会で説明したところ。
・今般、建設費高騰に対応した「新整備プラン案」により本事業を推進することとし、その具体的内容及び今後の事業スケジュールについて説明するもの。

2 建設費高騰に対応した新整備プラン案の概要（コスト最適化と財源確保）

⑴　総事業費の圧縮

必要機能及び床面積の精査による建設費圧縮

従来フロアプラン （延べ床面積 13,000 ㎡）	⇨	新フロアプラン （延べ床面積 11,000 ㎡）

⑵　国庫補助金の最大活用

①社会資本整備総合交付金（国土交通省）
　・自治体が実施するインフラ整備（安全・安心や市街地整備等）に対する交付金
②民生安定施設設置助成事業（防衛省）
　・自衛隊基地の存する自治体の生活環境整備を支援する補助金
③地域未来交付金（内閣府）
　・地域の特性を活かした独自の地方創生や経済活性化を支援する交付金

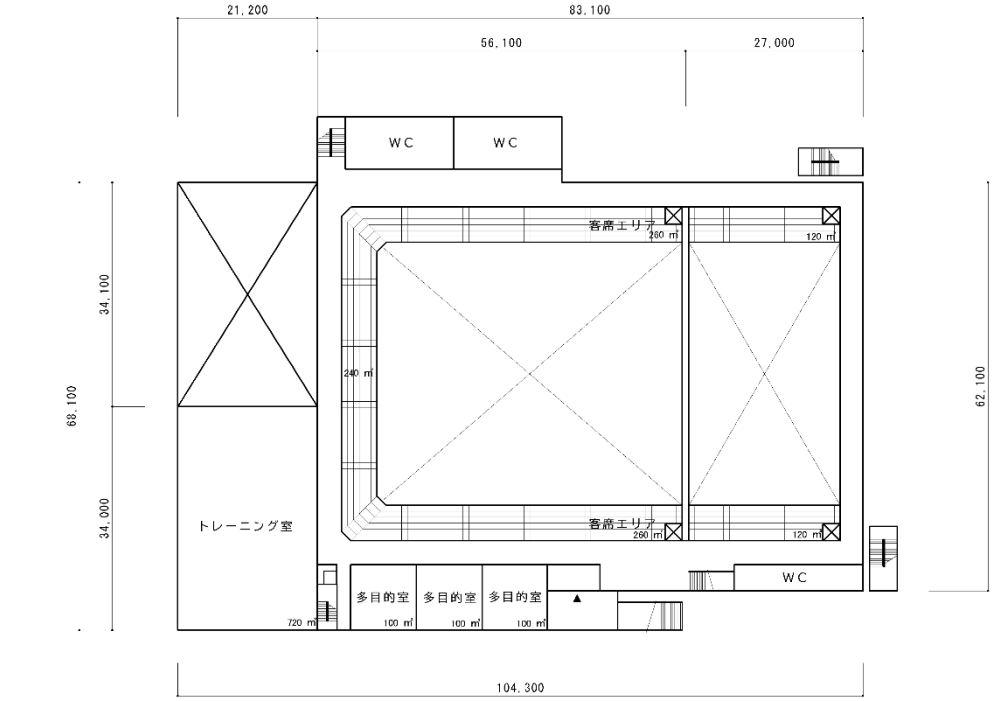
3　新フロアプラン（主なもの）

	従来フロアプラン	新フロアプラン
アリーナ	メイン：バスケットコート３面分 サ　ブ：バスケットコート１面分	メイン：バスケットコート２面分 サ　ブ：バスケットコート１面分
武道場	柔・剣道場ともに試合場２面分	新体育館への整備は見合わせ、現武道館の改修により対応
トレーニングルーム	現状と同程度の規模	現状と同程度の規模
その他の諸室	事務室、会議室、更衣室、シャワー室、トイレ等	事務室、会議室、更衣室、シャワー室、トイレ等
新たな集客機能	－	キッズゾーン、コミュニティゾーン、カフェ等※

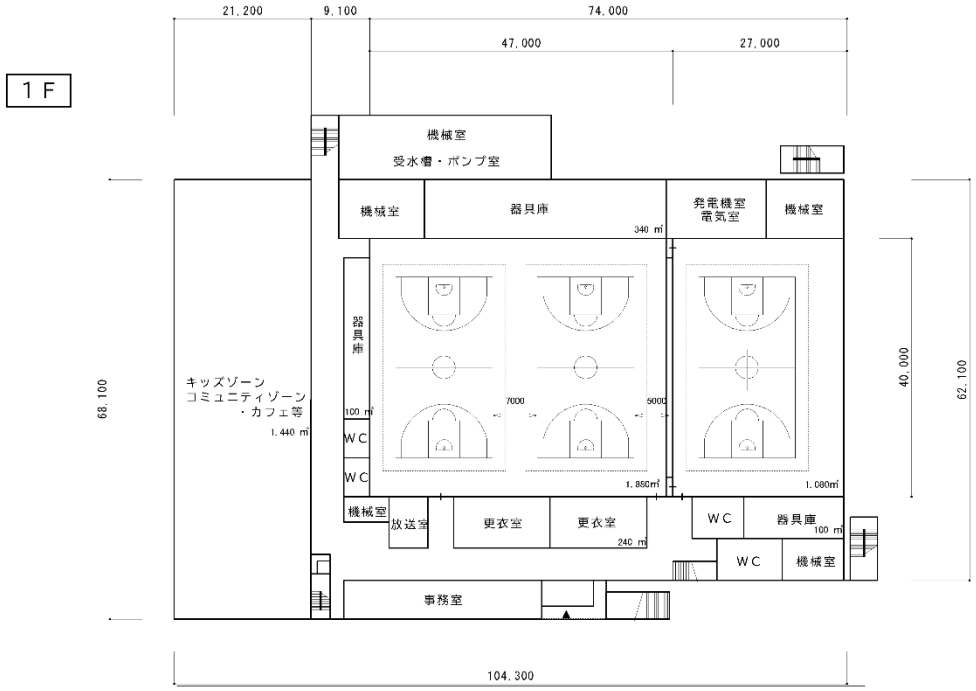
※繁華街から徒歩圏内の体育館として集客機能を強化し中心市街地活性化に寄与
　→地域未来交付金の趣旨に合致

新フロアプラン

２Ｆ



１Ｆ



メインアリーナ	バスケットコート２面	その他の機能 ・冷暖房設備 ・防災機能 （指定避難所） ・ZEB 化（省エネ）
サブアリーナ	バスケットコート１面	
観客席	メイン 1,200 席　サブ 400 席	
武道場	新体育館への整備は見合わせ、現武道館の改修により対応	
トレーニングルーム	720 ㎡（現状と同程度）	
キッズゾーン・コミュニティゾーン・カフェ等	1,440 ㎡程度	
多目的室	多目的 100 ㎡×３	

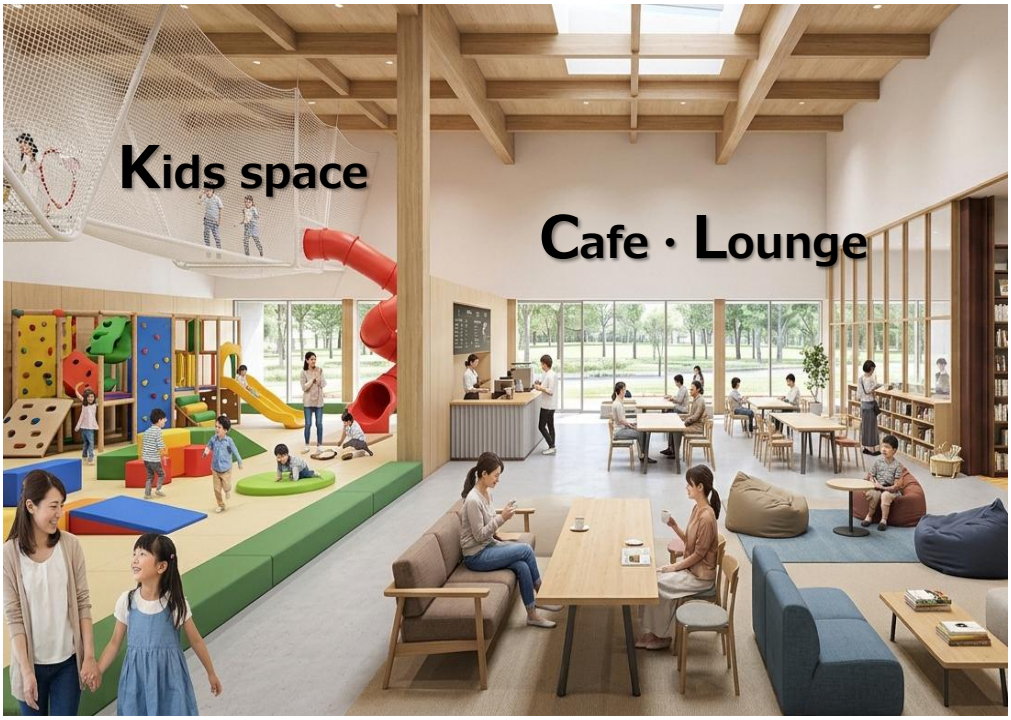
４　概算事業費の想定

・新体育館建設に係る事業費については現在精査中であり、今後、事業が進捗していく中で公表を予定している。

５　今後のスケジュール（予定）＊PFI で事業を進めていく想定

令和８年７月 21 日	事業者へ HP で公表
８月～９月	サウンディング（事業者へ参画意欲、新プランへの意見・アイディア等を聴取）
10 月～１月	基本方針、基本計画の見直し
１月	実施方針（案）、要求水準書（案）公表
２月～３月	事業者向け説明会
令和９年４月	実施方針、要求水準書の公表
６月	募集要項等の公表
12 月	提案審査書類の受付
１月	優先交渉権者の審査・決定
２月	選定事業者との基本協定の締結
３月	PFI 事業者（SPC）と仮・本契約
令和 10 年度～14 年度	建設事業期間５か年（設計・解体・建設）
令和 15 年度～	供用開始

（参考）キッズゾーン・コミュニティゾーン・カフェのイメージ



※本画像は生成 AI による視覚的な完成イメージであり、実際の設計・構造とは異なります